



連合  
大阪

# 中小組合News

2023「連合大阪地域ミニマム運動」

## 中小組合の賃上げがカギ

連合大阪 労働政策・ジェンダー平等推進グループ 岩崎 富巳子

### 取り組みの背景

地域ミニマム運動は、「地域において不合理な賃金格差を是正する」ことを目的に、春季生活闘争と一体として1995年にスタートした運動で、連合で実施する唯一の個人別賃金調査である。この調査結果を活用して自社あるいは地域の賃金水準を把握し、賃金相場の形成・底上げにつなげる。

特に、2019闘争以降は、産業・地場相場の形成と産業内や地域の未組織労働者への波及効果を高めていくことを目的に、個人別賃金データの収集とその分析、課題解決に向けた支援を強化し、地域ミニマム運動へ積極的に参画する体制づくりを進めている。

賃金格差を是正し、中小組合の賃金の「底上げ」「底支え」を実現するため、連合・構成組織・地方連合会が一体となって取り組む。2022地域ミニマム運動には、全地方連合会2991組合が参加し、集約データ数は60万4651人と過去最大となった。

### 2023連合大阪地域ミニマム業種及び学歴別賃金特性値

集計結果に基づき、「2023連合大阪地域ミニマム 業種及び学歴別賃金特性値表」を作成し

た。

(1) 賃金実態調査結果は、13構成組織、188組合、2万631人（昨年は、12構成組織、95組合、1万7831人）のデータに基づいて集計した。学歴別賃金特性値については、2488人分の学歴区分不明データを除いた1万8143人のデータ集計となっている。

(2) 集約したデータの精度をより向上させていく観点から、300人未満の中小組合を中心に、組合規模にかかわらず、できる限り多くの賃金データを集約した。

(3) 特性値表は、年齢を18・20・25・30・35・40・45・50・55歳の9つの年齢ポイントごとに示した。

### 2023連合大阪地域ミニマム参考値の設定

(1) 2022年度賃金実態調査結果の「製造業・男女」（1万1363人）の第1十分位3次回帰の特性値を考慮し、「2023連合大阪地域ミニマム参考値」を設定した。

(2) 18歳ポイントについては、2021年12月に連合が調査した「2021連合リビングウェイジ」に、至近の物価上昇などを考慮して簡易改定された「2022連合リビングウェイジ」を都道府県別に換算したところ、「2021連合大

阪リビングウェイジ（時間額1050円）」を上回ったことから1100円に変更した。

(3) 18歳ポイントを変更したことにより20歳ポイントが沈んだため、連合の春闘方針を鑑み、1年1歳間差を4500円とし、9000円をプラスした。

(4) 時間給算出では、実態にあわせるため、大阪の所定内労働時間（賃金構造基本統計調査／企業規模10人以上：月165時間）を用いて換算した。

(5) 賃金実態調査における調査母数、調査対象（前年と同じ組合・同じ組合員など）も同一ではないので、必ずしも正確な比較はできない。

### 2023春季生活闘争での取り組み

(1) 「地域ミニマム運動」を積極的に推進し、地域の賃金水準（業種および学歴別賃金特性値）を組織内外・地域全体に開示し、地場の業種及び学歴別賃金相場形成に取り組む。

(2) 「地場共闘」の強化を図りつつ、機関紙やホームページに記事を掲載するなど、効果的に情報を発信し、中小のみならず未組織の組合や有期・短時間・契約等で働く労働者の「底支え」「格差是正」へつながる体制を強化する。➤

▽ (3) 賃金全数調査に協力いただいた加盟組合に対しては、「賃金プロット図」などの調査結果資料を還元する。結果資料を基に存在する「賃金カーブ」を割り出し、賃金制度を確立、そして賃金交渉の活性化を図る。

(4) 関西経済連合会や中小企業団体中央会などの経営者団体に対して、要請・申し入れ行動を展開し、会員企業への周知徹底を求める。

### 集計結果の活用

まずは、自単組内の賃金水準を点検し、「極端に賃金が高い従業員はいないか」「同年齢で極端な格差はないか」「年齢間

のバランスが取れているか」などの問題点を洗い出す。続いて、構成組織や連合大阪の2023春季生活闘争方針の賃金水準と比較する。具体的には、「連合大阪地域ミニマム 業種及び学歴別賃金特性値」を用いて第1十分位以下をなくし、第1四分位、中位数と確認・検討、各種データを賃金交渉の参考に活用する。加えて、「連合大阪地域ミニマム参考値」以下の低い賃金の実在者はいないか、同年齢・男女間での大きな格差はないかなど点検活動を行ってほしい。特に、男女間の賃金格差については、女性活躍推進法の省令が改正され、301人以上の企業に対して「男女の賃金の差異」の

把握と公表が義務付けられている。是非とも、賃金データに基づいて、男女別・年齢ごとの賃金分布を把握し、賃金プロット図を作って「見える化」していただきたい。

今年は業種別の賃金特性値に加え、学歴別の賃金特性値も公表している。賃金実態分析結果を活用し、自社の賃金の問題点の分析や説得力のある要求作りに役立ててほしい。また、連合は中小組合の労使交渉を支援するための「中小組合元気派宣言」冊子を発行・提供している。

今春闘は中小組合の賃上げがカギとなる。さまざまなツールを活用し、社会全体に波及させるべく、ともに頑張りましょう！

### ● 2023連合大阪 地域ミニマム 業種別賃金特性値表(抜粋)

単位：千円

業種	18歳			35歳			55歳		
	第1十分位	第1四分位	中位数	第1十分位	第1四分位	中位数	第1十分位	第1四分位	中位数
全産業計	165.0	168.8	172.5	217.5	245.3	275.0	224.2	277.1	324.8
製造業	165.0	168.8	171.5	230.7	253.4	278.5	283.0	310.1	357.5
交通・運輸	161.0	161.0	161.0	187.8	200.4	209.8	199.6	212.0	238.8
商業・サービス	164.8	172.0	176.2	227.7	248.4	278.1	260.1	282.3	316.8
金属	165.0	168.8	171.5	230.5	253.4	278.5	282.1	309.7	357.4
化学・繊維	-	-	-	-	-	-	300.0	300.0	300.0
食品	169.4	169.4	175.5	248.6	266.0	279.9	357.3	358.1	365.3
サービス・一般	227.4	229.5	233.0	187.2	218.7	257.8	262.0	286.9	315.6
情報・出版	172.0	174.0	176.2	236.9	248.4	279.2	254.0	277.4	320.3
商業・流通	-	-	-	206.2	220.6	261.7	210.4	296.8	315.4
建設・資材・林産	163.6	166.0	175.7	245.8	266.7	284.3	275.9	284.5	319.4

### ● 2023連合大阪 学歴別賃金特性値表(抜粋)

単位：千円

業種	18歳			22歳			35歳			55歳		
	第1十分位	第1四分位	中位数	第1十分位	第1四分位	中位数	第1十分位	第1四分位	中位数	第1十分位	第1四分位	中位数
中学校	-	-	-	-	-	-	218.7	227.8	249.6	195.5	239.6	266.6
高校	165.0	168.8	172.5	-	-	-	222.1	241.0	271.5	251.5	287.4	339.3
短大・高専	-	-	-	-	-	-	209.7	233.4	259.6	231.8	283.9	319.0
大学・大学院	-	-	-	204.1	212.0	215.0	240.2	267.2	287.7	266.6	301.8	345.0

### ● 2023連合大阪地域ミニマム額参考値

年齢	2023連合大阪地域ミニマム参考値 (時間給換算：所定内実労働時間大阪=165h) ※18歳はリビングウェイズ額(設定時は165hで計算)	
18歳	181,500円 (1,100円)	161,000円 (975円)
20歳	190,500円 (1,155円)	173,000円 (1,048円)
25歳	198,000円 (1,200円)	
30歳	218,000円 (1,321円)	
35歳	234,000円 (1,418円)	
40歳	247,000円 (1,497円)	
45歳	258,000円 (1,564円)	
50歳	269,000円 (1,630円)	
55歳	280,000円 (1,697円)	

#### 〈分位数について〉

労働者を賃金の低い者から高い者へと並べて等分し、低い方から第何番目の節に位置するかを示す値。

**第1十分位数** 全体を十等分し、低い方から1/10 (10%) にあたる人の賃金。

**第1四分位数** 全体を四等分し、低い方から1/4 (25%) にあたる人の賃金。

**中位数** 全体のちょうど真ん中(50%)にあたる人の賃金。(5人なら3番目の人、6人なら3番目の人と4番目の人を足して2で割ったものになる)